

# 建築図面等の記載例

平面図、求積図、求積表の記載例

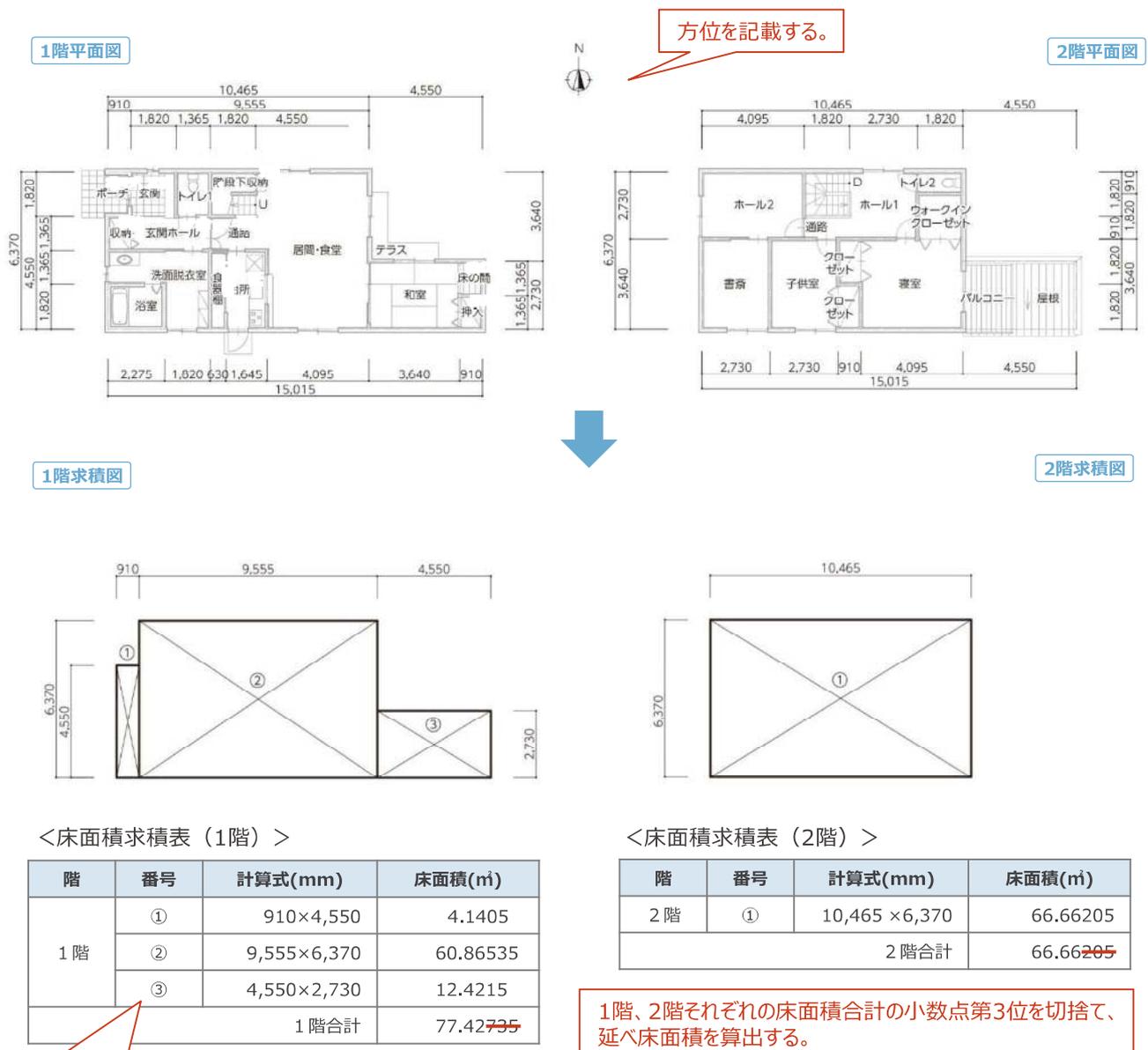
【補助対象床面積及び各部位の施工面積算出における図面の作成例】

算出条件：組合せ番号1

改修部位：天井、外壁、床、窓

※天井・外壁・床の面積は壁芯寸法で求めること。

## ①延べ床面積（改修後）を算出



番号は図面等と整合性をとる。

1階、2階それぞれの床面積合計の小数点第3位を切捨て、延べ床面積を算出する。

**1階2階の合計延べ床面積：77.42+66.66=144.08㎡**

## ②補助対象床面積部を特定

1階平面図



2階平面図



当該箇所に着色する等のマーキングをする。また、窓を改修する場合は窓番号を付番する。

■■■■補助対象床面積部

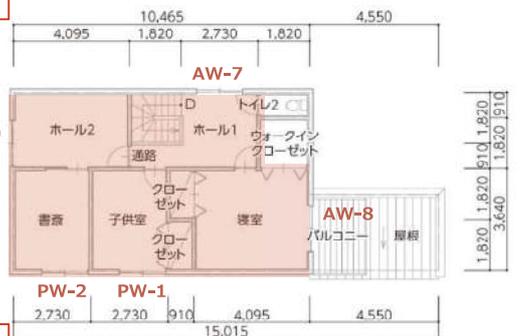
1階平面図



2階平面図

全ての対象窓に付番をする。

対象箇所にマーキングをする。

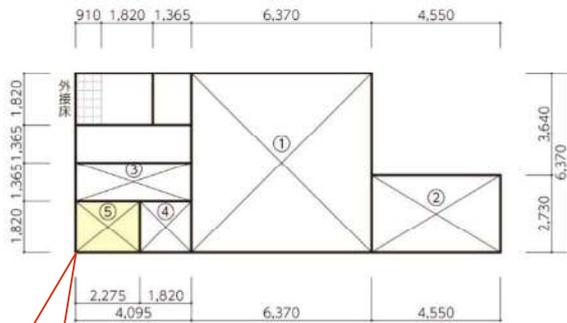


この例では、以下の組合せ番号及び改修部位を選択したものとする。

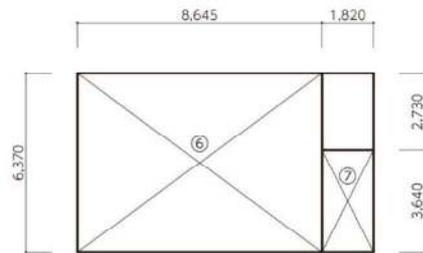
- ・組合せ番号：No. 1
- ・改修部位：天井、外壁、床、窓

### ③補助対象床面積及び改修率を算出

1階求積図



2階求積図



浴室の床及び玄関等の土間床は断熱改修工事が困難な場合も、当該部分は「補助対象床面積」として改修率へ算入できる。

<補助対象床面積求積表（1階）>

階	番号	計算式(mm)	補助対象床面積(m <sup>2</sup> )
1階	①	6,370×6,370	40.5769
	②	4,550×2,730	12.4215
	③	4,095×1,365	5.589675
	④	1,820×1,820	3.3124
	⑤	2,275×1,820	4.1405
1階合計			66.040975

番号は図面等と整合性をとる。

<補助対象床面積求積表（2階）>

階	番号	計算式(mm)	補助対象床面積(m <sup>2</sup> )
2階	⑥	8,645×6,370	55.06865
	⑦	1,820×3,640	6.6248
2階合計			61.69345

1階、2階それぞれの補助対象床面積合計の小数点第3位を切捨て、補助対象床面積を算出する。

**1階2階の補助対象床面積合計：66.04+61.69=127.73m<sup>2</sup>**

$$\text{改修率} = \frac{127.73\text{m}^2(\text{補助対象床面積合計})}{144.08\text{m}^2(\text{延べ床面積})} \times 100 = 88.6 \rightarrow \mathbf{88\%}$$

P.1の①で算出した「延べ床面積」と「補助対象床面積合計」で改修率を算出し、小数点第1位は切捨てして整数とする。

※平面図に延べ床面積の算定式及び、改修率の算定式を記載すること。